

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 8日

事業所名

放課後クラブ ビサイド

環境・体制整備	チェック項目	はい どちらか どちらもない				課題や改善すべき点を踏まえた改善内訳又は改善目標
		はい	どちらか	どちらもない	工夫している点	
業務改善	1 利用定員が指導員配置等スペースとの関係で適切である	5				安全に過ごせるように、環境を整えて安全に保っている。
	2 職員の配置数は適切である	5				
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5				バリアフリーはあるが、床にマットの設置を改善すべきである。
	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	5				土曜日、長期休暇は、有意義に過ごせるように計画を立てて実行している。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5				
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5				ホームページの活用している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5				第三者委員会の立ち上げ、ご助言を頂いている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5				社内研修を行ない、社外研修も計画して実行している。社外研修にも月1回参加している。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5				本人・保護者や学校関係機関を含め、情報の共有化を図り、ニーズに寄り添った支援を計画し作成している。
	10 子どもの通园行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5				毎日、立案して職員間で話し合い策定している。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5				ソーシャルスキルトレーニング・運動・音楽療育トレーニング・身体トレーニングを毎日変更しながら行っている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3		2		細かく活動計画表を作成している。支援員の配置をしている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2			活動による担当を決めて、職員で協力して支援を行なっている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5				支援終了後の職員会議は送迎の為、出来ないで、翌日の朝礼で振り返りをおこなっている。
	17 日々の支援に際して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5				申し合わせ事項を記入している。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5				
関係機関や保護者との連携	19 ガイドラインの趣旨の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3		2		
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	5				
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5				
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3		2		医療的ケアの児童に対しては、看護師が対応できるようにしている。
	23 数年前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を努めている	5				児童発達支援事業所と連携している。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5				今年、高校卒業し、福祉サービスを利用する。しっかりと情報を提供する。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1			月に1回研修に参加している。しっかりと、連携をとってきたい。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1		4		施設間の交流は、コロナの影響で出来ていないが、公園で学校のお友達と遊ぶことがあった。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3		2		市内の協議会に参加していきたい。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5				送迎時、保護者との連携をとっている。必ず、施設での様子を伝えている。
保護者への説明責任等	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	3		2		保護者が子育てに対して悩み、不安、ストレスを改善する為、関係機関との連携をとり、ペアレントトレーニングを実施する。
	30 運営規程、支援の内容、利用負担等について丁寧な説明を行っている	5				契約時に運営規定・指定病院など説明している。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		1		その都度、相談員・児童相談所との対応させて頂いている。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を設置する等により、保護者同士の連携を支援している	3	2			コロナ禍において、開催が出来てない。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5				苦情担当が迅速に対応する体制が出来ていない。
	34 定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5				会報は発行していないが、常にラインでの情報は発信している。
	35 個人情報に十分注意している	5				
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っている	3	2			情報発信している。
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5				策定して周知徹底している。
非常時等の対応	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5				6ヶ月ごとに行っている。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5				社内研修で定期的に行っている。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、前端的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し同意を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5				個別計画にも記入して、保護者に説明している徹底していく。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		1		アセスメントに記載されている事項を確認し、職員内で周知徹底する。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5				一人、週1〜2枚以上を目録にしている。